

なぜ街路樹の植替えが必要なの？

道路で育つ街路樹は、多くの制約の中で生育していることから、外からは元気に見えても内部が弱っている木があり、枝折れや幹折れ、さらには倒木が起きる可能性があります。

制限された生育環境

道路で育つ街路樹は、十分に根を伸ばせず過酷な空間で生育している

強い剪定

通行や家屋に影響を与えないように強い剪定が必要になる

腐り・空洞化

幹や枝の内部が腐ったり、空洞化する木が増加している



電線・建築物との競合

粉塵・排気ガスの影響

制限された根の生育空間

生長して道路や住宅にはみ出す



切り口から腐りや虫が入る



枝の中に空洞が発生し、枝が落下

いま甲子園筋で起きている課題

枝折れ・幹折れ

空洞のできた枝や幹が台風や強風発生時等に折れる事故が発生しています。



根上がりで歩道が凸凹

生長した根が、歩道の舗装を盛り上げ、歩行者や自転車が転倒するリスクが高くなっています。



安全安心な通行を確保するため、街路樹の植替えを行っていきます



地域のみなさまのご参加と活発な意見交換により、甲子園筋の未来を共に描く有意義なワークショップ等となりました。心より感謝申し上げます。

【お問合せ】兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所

TEL 0798-39-1540/FAX0798-23-7790 / MAIL nishinomiyaoboku@pref.hyogo.lg.jp

甲子園筋

街路樹ワークショップニュース

No.4

発行
令和8年4月

プラタナス並木の整備を通じて甲子園筋の未来の風景づくりに取り組みます！

全4回のワークショップ、春風小学校の出前授業、コロワ甲子園での広聴説明会を経て、甲子園筋の「街路樹植替方針」がまとまりました。

「プラタナス」ってどんな樹木？

プラタナス 落葉広葉樹

姿形

カエデのような深い切れ込みのある大きな葉と、白く美しい幹肌が特徴です。プラタナスは生長すると大きな樹冠を広げ、枝葉がつくる木陰は夏の暑さを和らげてくれます。甲子園筋の緑の景観を美しく彩ります。

季節の変化

春にはみずみずしい新緑、夏には力強い緑陰、秋には鮮やかな紅葉、そして冬には白い幹肌が際立ち、四季を通じて豊かな季節の移ろいを感じることができます。

また、秋には毬のような丸い実が房状にぶら下がり、その姿も楽しめます。この実はクリスマスリースなどのクラフト素材としても利用できます。



街路樹植替方針

ポプラとプラタナスが混在する街路樹を、倒木の危険性が高くなった順に伐採し、プラタナスに植え替えて統一します。



1. 樹木をプラタナスに統一

現在、甲子園筋の街路樹は主にポプラとプラタナスの2樹種で構成されていますが、今後はプラタナスに統一していきます。

2. 街路樹植替の進め方

- ・すでに伐採するなどして、街路樹が少なくなっているエリアを優先して植樹します。
- ・植栽時には、根が十分に生育できるように、また根上がりしないように、植栽基盤を整備します。

3. 街路樹の育成・維持管理

- 街路樹の高さや姿形の目標像を定めて維持管理を実施します。
- ・街路樹カルテを作成し、目標を共有します。
 - ・行政職員と事業者を対象に剪定講習会を開催し、剪定技術の向上を図ります。

4. リスク管理

- 定期的な点検と必要に応じた処置を行います。
- ・年1回の街路樹診断を実施します
 - ・倒木や落枝の危険性が高い危険木や枝は伐採します。

※北西側の歩道が狭い部分については、通行空間に配慮して、部分的な植樹を予定しています。

決定!! プラタナスでつくる 甲子園筋の並木道 ～ワークショップ・春風小学校出前授業・アンケート調査のご意見から～

樹種決定までの経緯

令和3～4年度 自治会の協力を得てワークショップを5回開催
倒木、落ち枝などの危険がある木から順次、北側イペー/南側クスノキに植替える
更新計画を策定



しかし...

・近隣の生育調査の結果、イペーは街路樹として必要な空間を十分に確保できるほどの生育は見込みにくいことが判明。

・令和3～4年度の開催時は、コロナ禍の制限により広報活動を自治会経由に限定したため、情報が十分に行き届かなかったという課題があった。

令和6～7年度 改めて更新樹種決定に向けたワークショップを開催

イペー代替樹種の検討



誰でも参加できるよう広報を強化

甲子園筋に面する住民・自治会・小学校へのチラシ配布
市政ニュース・ホームページへの掲載・広聴説明会の開催

第1回ワークショップ
(令和7年3月1日)

・日本の街路樹の現状・課題を解説
・甲子園筋に対するみんなの思いを共有

第2回ワークショップ
(令和7年6月22日)

・街路樹ツアー
・現地での街路樹診断
・甲子園筋で大切にしたいことの話合い

第3回ワークショップ
(令和7年11月24日)

5つの候補樹種を選定し、より多くの住民意見を聞いた上で樹種を決定することに合意

春風小学校出前授業
(令和7年10月20、24日)

街路樹の授業を行い、小学3年生143名の意見を聞き取り

広聴説明会 in コロワ甲子園(令和8年2月8日、13日開催)

・パネル展示・街路樹の現状や候補樹種特性の説明、アンケート調査の実施(回答者数 134名)

第4回ワークショップ(令和8年3月15日開催)

・プラタナス選定の経緯説明・植替方針案の説明・意見交換・美化活動に関する情報提供

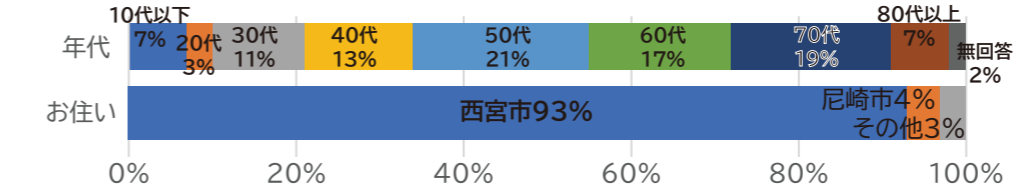
県が道路管理者として「街路樹植替方針」を決定

街路樹更新計画のQ&A

- Q. 現在、伐採予定の街路樹はありますか?
→街路樹診断の結果、倒木の危険性が高い危険木が9本あるため、令和8年4月以降、これらの伐採を行う予定です。
- Q. 街路樹を伐採する場合、事前に周知されますか?
→現地で、伐採する樹木に貼り紙をするなどして、事前にお知らせします。
- Q. 街路樹の更新スケジュールは?
→これまでに伐採し、街路樹が少なくなっているエリアからプラタナスを植えていきます。また、今後は、毎年の街路樹診断結果に基づき、倒木の危険性が高い街路樹を随時伐採し、プラタナスに植替えていきます。
- Q. 健全な木も伐採するのですか?
→健全な樹木を切ることはありません。そのため、当面は、健全なポプラとプラタナスが混在する状態になります。
- Q. 甲子園駅北側直近に植えているクスノキはどうなる?
→他の場所への移植を計画しています。
- Q. 現状の街灯が活かされるように一定の距離をとって植樹してほしい。
→街灯に近接した場所には植樹しません。
- Q. プラタナスはポプラよりも街路樹として適しているのでしょうか?
→プラタナスはポプラよりも剪定に強いことから、倒木や枝折れのリスクが低く、また、上に伸びる特徴から車両通行に対する影響も少ない樹種です。

広聴説明会でのアンケート結果

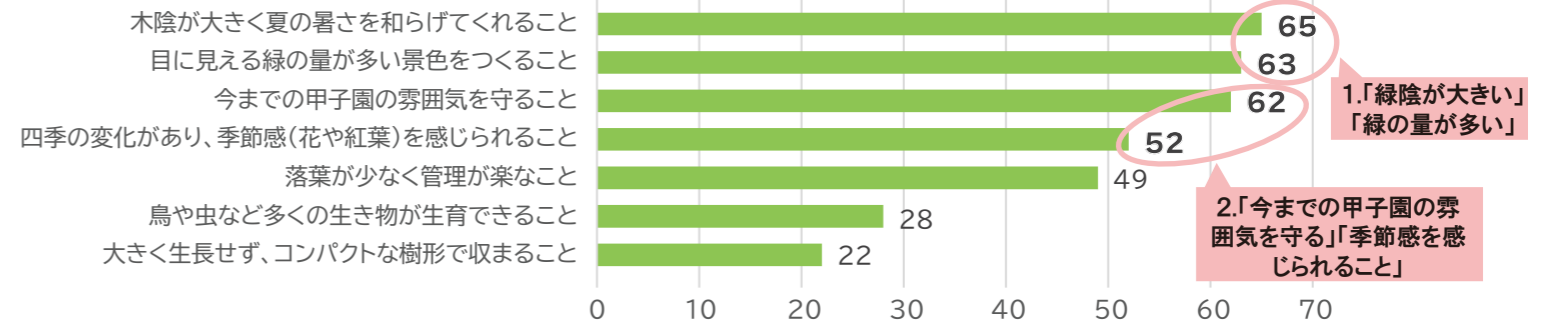
日時：令和8年2月8日(日) 13日(金) 場所：コロワ甲子園
回答者数 134名



2日間で134名の方がアンケート調査に回答いただきました。



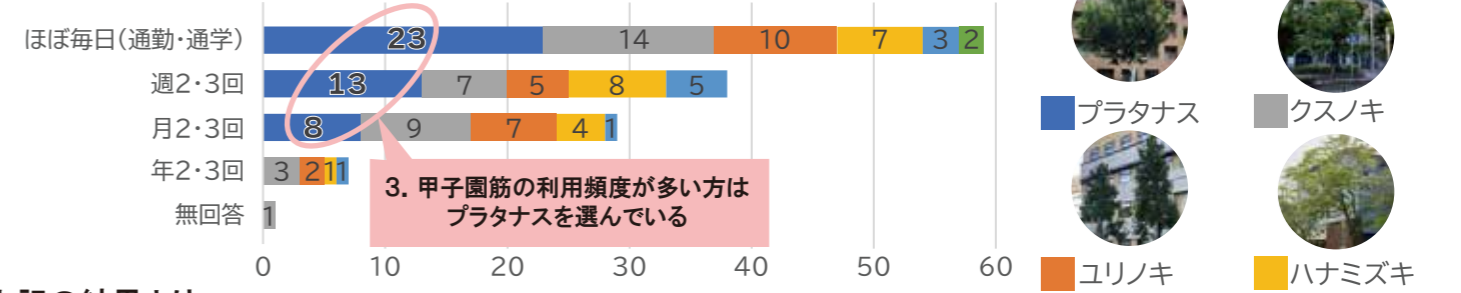
甲子園筋の街路樹で大切にしたいこと・重視したいこと(複数回答可)



1. 「緑陰が大きい」「緑の量が多い」

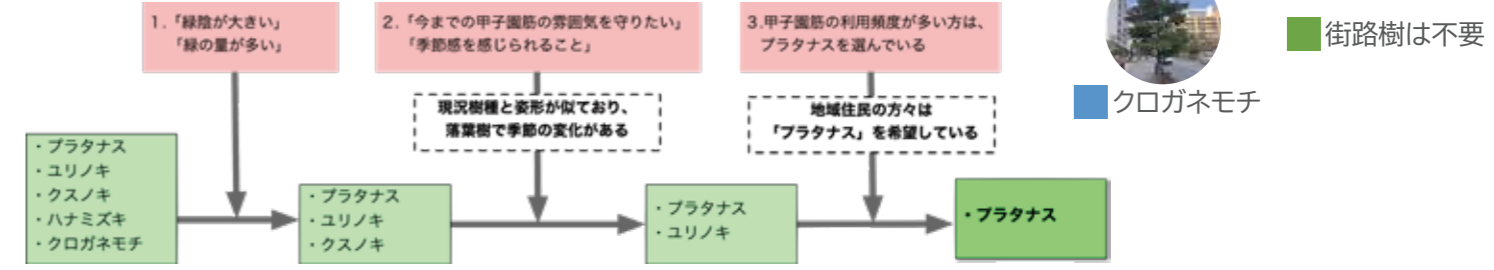
2. 「今までの甲子園の雰囲気を守る」「季節感を感じられること」

甲子園筋の利用頻度ごとにみた樹種の希望



3. 甲子園筋の利用頻度が多い方はプラタナスを選んでいる

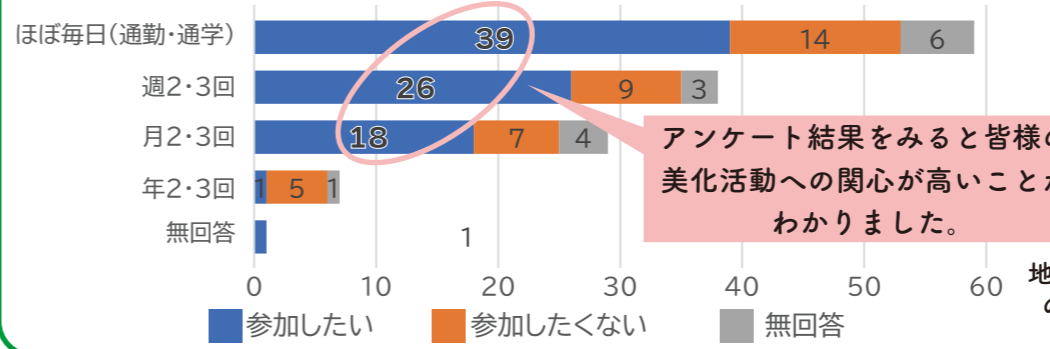
上記の結果より、



プラタナスとポプラが混在する現在の甲子園筋の街路樹が、プラタナスに統一され、整った景観が形成されます。また、プラタナスは街路樹として植栽実績が多く、剪定管理の技術も蓄積されています。

甲子園筋の街路樹を「プラタナス」に決定しました!

甲子園筋の美化活動に関心のある地域住民の皆さんで、美化活動を始めませんか?



アンケート結果をみると皆様の美化活動への関心が高いことがわかりました。

県民のボランティア活動を支援する制度があります



地域の皆さんのご協力がよりよい街路樹の育成につながります。グループでのご参加お待ちしております。